

2023年3月期 決算補足説明資料 (棚卸資産増加の要因について)

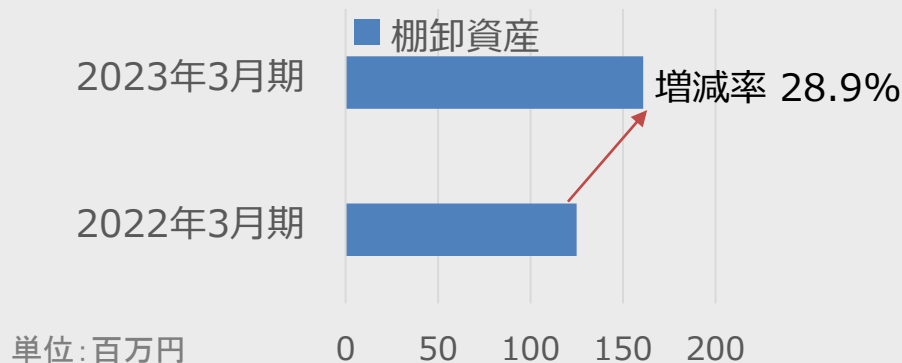
2023年5月

株式会社多摩川ホールディングス

世界的な半導体や非鉄金属材料の品薄による納期遅れ対策として、顧客の前倒し発注が増加したため、2023年3月期の受注高は前年同期比0.3%増加、受注残高は前年同期比100.6%増加しております。

これらの受注に対応するため、部品・材料を先行発注した結果、棚卸資産（部品・材料、仕掛品、及び製品在庫）は前年同期比28.9%増加しております。棚卸資産は増加傾向にありますが、顧客からの受注に基づき発注しているものが大半を占めており、顧客には大手企業が多いことから滞留在庫となる可能性は低いと判断しております。

各市場への拡販活動に加え新規市場への開拓を行った結果、市場からの認知度も高まり顧客からの大型引合いが増加していること、防衛費が2027年度までに国内総生産（GDP）比2%に増額することを想定すると、部品材料調達難が解消した際には、棚卸資産が出荷により減少し、売上高の増加が期待できると確信しております。

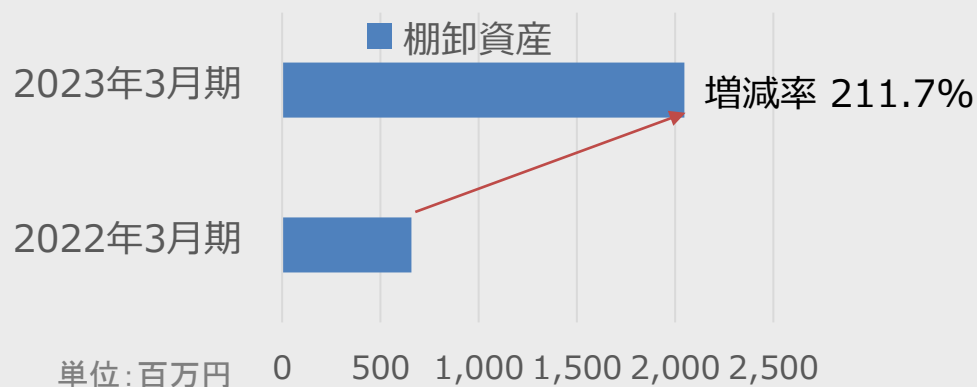


再生可能エネルギー事業—棚卸資産増加の要因

再生可能エネルギーの普及拡大と脱炭素社会の実現に貢献するべく、小形風力発電所や太陽光発電所の開発を積極的に推進しており、これまで主に北海道において小形風力発電所の開発に注力し、当期は開発基数の増加を進めてまいりました。

また、資金調達の多様化を進めてきた結果、サステナブル融資等のプロジェクトファイナンスを複数実行することで、当期は新たに43基の小形風力発電所が完工・連系いたしました。以上の結果、商品及び製品は前年同期比211.7%増加いたしました。連系した小形風力発電所は、順調に売電し、安定的に収益を計上しております。

最近では、ESG投資を目的とした企業や機関投資家などから当社が保有する小形風力発電所の引き合いが急増しております。当社が保有する小形風力発電所は、これまでに開発体制の構築を行い、ストック化・売却スキームを確立したことにより、売電または発電所の販売による安定した収益基盤となっております。



本資料は株式会社多摩川ホールディングスの2023年3月期の業績及び経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載した意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

株式会社多摩川ホールディングス 経営企画部

Tel 03-6435-6933

E-Mail ir@tmex.co.jp

HP <https://www.tmex.co.jp>